

山県グリーンポート 理学療法士 牧村 祐希 (勤続3年)



この道に進んだきっかけは？

「人の役に立つ仕事」がしたいと漠然と考えていた時に、サッカー部の顧問の先生にリハビリテーション科のある専門学校を勧められました。また、僕の祖母が変形性膝関節症でいつも「膝が痛い」と言っていたこともあり、理学療法を学んで、祖母の膝の痛みをやわらげてあげたいと思い、この道に進みました。

やりがいを感じたこと

岩砂病院・岩砂マタニティのリハビリテーション科に配属されていた当時は、患者さんから「ありがとう」と感謝の言葉をかけてくださったり、笑顔で退院されていく姿を見た時にやりがいを感じていました。

山県グリーンポートに異動になった現在は、利用者さんから「リハビリで良くなったから、次は〇〇がしたい」といったように、利用者さんがご自身の生活で新しい目標を持つようになってくださった時に、この仕事を選んで良かったと感じます。

休日の過ごし方は？

小学校からずっとサッカーを続けており、今は社会人のサッカーチームに所属して試合に出ています。また釣りやスノーボードなど、さまざまなことに挑戦しています。

皆さんに一言

友愛会のスタッフはとても優しく、あたたかい職場だと感じています。そんな環境でありながらも、ほかのスタッフとともに切磋琢磨し、僕自身もますますスキルアップしていきたいです。